

小学1年生・2年生放課後英語教室（令和8年9月）

夏季休業が終わり、9月からの放課後英語教室が再開しました。

9月は果物や野菜、飲み物などを題材として、味(sweet, bitter, sour, spicy, solty, yacky)を英語で表現する活動を実施しました。

味の感じ方には人それぞれ違いがあることに気づいたこどもの姿が見られました。これらの活動をきっかけに、他者理解を深める機会となれればと願っています。



4月から取り組んでいる「Hello song.」は簡単な表現ではありますが、自信をもって歌ったり体を動かすことができているように感じます。また、「英語教室がこれから始まる」という気持ちの切り替えにもなっているようです。

さらに出席確認の際に名前を呼ばれたこどもは、「Here」（ここにいます。）とやりとりしていました。全てを英語というわけではないですが、こどもたちが楽しみながら、抵抗感なく少しずつやりとりが増えていってほしいと思います。



教室を6つの区画にわけて活動を行いました。それぞれの区画には食べ物の味を表現する絵カードが置かれていました。こどもたちは、インストラクターが提示した「Pineapples」「peppers」「cookies」などの食べ物に対して自分が感じる味を表現する区画に移動します。

それぞれに感じ方が違うおもしろさを味わいながら、各々が気持ちを表現できる時間でした。



さらに活動を発展させ、フルーツバスケット通した英語活動を実施しました。

実際に **bitter** と言ったりすることで、味と食べものの英語表現が一体になりつつあります。

「bitter」「sour」はあまりなじみがなかったようですが、幼児期～低学年特有の主体的に物事に関わろうとするこどもたちの姿がみられます。きっと自然に英語表現が身についてくるのだろうと期待しているところです。